AREAN SAL JOHER

『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして \sim 2025/11/11

SAH×異文化理解ドイツと日本の違いは?~短期学校体験に来た生徒に聞く

9 月にドイツ在住の町田・ソフィー・瑠南さんが前橋南高校へ短期学校体験に来ました。2 学年のクラスに所属し、一緒に授

業を受け、掃除をし、部活動にも参加をしました。体験を終えた町田さんに体験を通した感想やドイツと日本の違いについて

話を聞きました。世界は広く、色々な価値観や習慣がある。そして、現代はグローバル社会で、世界と繋がり関係する場面が

多くなります。前南生にもそういった国際感覚を持ち、異文化を理解することを意識してもらいたいと思います。(編集 教頭)

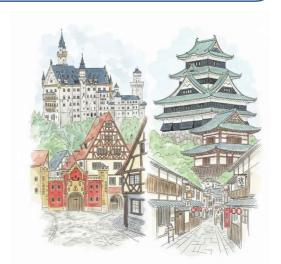
ドイツの授業は意外にもクラシック?

Q 日本の高校(前南)とドイツの高校との違いはどんなところですか?

「まずは授業時間ですが、通常は 7:45 から 13:00 までで一科目 90 分あります。学年や 選択授業によって週に数回午後の授業もあります。小学校が4年生までで、そのあとは5年 生から 12 年生まで一貫の学校に変わるので 10 歳の子もいれば 18 歳の子もいます。

日本のクラスはうるさくなく、みんなが周りに迷惑をかけないようにしていて良いと思い ました。ドイツには誰かが発言したことに対していちいちコメントしてきたり、間違うとバカに してきたりする生徒が少なくてもクラスに一人はいますが、先生はあまり気にしていないこと が多いです。高校は授業が90分ずつなので、途中で5分休憩を設ける先生も時々います。

先生と生徒の関係は、ドイツでは先生が圧倒的に上の存在で親も生徒もあまり文句が言え ない立場ですが、日本は先生が威張っているとは感じませんでした。特に 2 年 3 組の担任原 澤先生は生徒と友達のように接しながらもリスペクトされていて、理想の先生でした。



部活動というものはドイツにはなくて、市でやっているクラブに入ったり習い事をするのが一般的です。日本の高校にある部活は、同 じクラスではない新しい友達を作ることができ、勉強以外で学校で頑張れることがあって羨ましいです。私もいろいろな部活を見学させ てもらいましたが、とても楽しくて良い経験になりました。

あいさつについてですが、日本では各授業が始まる前に起立して礼をすることに驚きました。ドイツではみんな座ったままで先生のあ いさつに適当にばらばらに答える感じです。

校則は日本の方が厳しいですね。ドイツは私服で、化粧もアクセサリーも髪色も自由です。学校によっては露出がすぎると注意されると こもありますが、基本的には外見は自由です。スマホに関しては日本と似ていて授業中は先生に許可をもらわない限りは使ってはいけ ません。他にはガムをそこら辺にくっつける生徒がいるためガムは禁止、タバコやお酒なども法律上は許される年齢になっても校内では 禁止されています。

ドイツの学校の休み時間は、各授業の間に20分間休みがあります。おやつを食べながらおしゃべりをす る人がほとんどですが、サッカーや卓球、遊具で遊んでいる人もいます。」

Q 日本の授業とドイツの授業での共通点や違いは?

「授業ではたくさんの違いがありました。まずドイツでは挙手をして先生に指されてから発言するので、挙手してない生徒は指されま せん。ですが日本では誰も挙手しないで、先生がランダムに指しているので、答えがわからないのに指された生徒は困るだろうと最初は 思いましたが、いつ指されるかわからない状況の方がちゃんと授業を聞くんじゃないかということも思いました。さらにドイツでは静か に1人で黙々と問題を解いていって最後にみんなで答え合わせをするということが多く、とにかくいっぱい書かされます。その間先生は 質問に答えるためだけにいて、静かに見守っています。日本では先生がずっと前で説明をしていて沈黙はほぼありませんでした。その他 にもドイツでは机は全てくっつけあって真ん中に一つだけ通路があるようになっているのですが、それなのに日本より隣同士で話し合う ことは少ないです。誰かと話し合うことで視野が広がり、肯定感も高まるので、ドイツでももっと取り入れて欲しいと思いました。」

Q 印象に残った授業はありますか?

「英語の授業はドイツと違うと1番感じましたし、隣と話し合う機会もいっぱいあり、他のク ラスと混ざっている時もあって楽しかったです。他にも世界史の授業の先生の教え方が生徒 に興味を持たせてくれる教え方だったので聞いていて楽しかったです。」

Q 日本では、高校になって将来の進路を決めていくというのがスタンダードですが、ド

イツは小学校(Grundschule)で、将来の職業を決め、進学する学校を決めていくと



聞いたのですが?もしそうだと、日本の感覚だと進路を決めるのが早いなあと思ってしまうのですがどうですか?

「小学校卒業時に進路を決める」というのは、「何に特別に力を入れて学びたいか」によって進学する学校を決める、という事です。ま

た、小学校 4 年間の成績によって行ける学校のレベルが違ってきます(Gymnasium、Realschule など)。英語、フランス語、アート、体育、コンピューター、サイエンスなど様々な科目に特化した学校があるので、将来どんな職業につきたいかによって学校を選ぶことができます。でも、大半の生徒はそこまで深く考えていませんし、高校を卒業する時もギリギリまで進路を決めていない人の方が多いです。それに、8年間の学校(Gymnasium)の途中に学力や進路の関係で転校することも普通に可能なのでそうする人も少なくありません。ちなみに高校も大学も日本のような受験はありません。小学校卒業後は今までの成績によって進学できる学校のレベルが決まります。そして学校(Gymnasium)の卒業試験の成績によって進学できる大学が選べます。行きたい大学が決まったら、そのまますぐ進学する人もいればしばらく休学して好きな事をして過ごす人もいます。」



▲ノイシュヴァンシュタイン城 東京ディズニーランドのシンデレラ城のモデルに

スマホの功罪は世界共通?

Q ドイツの高校生にとって、スマートフォンはどのような存在ですか?(日本では便利になった

反面、依存症や生活習慣の乱れといった問題点も。)

「スマホに関する良し悪しは世界共通だと思います。いろいろと便利ですが AI など便利すぎる機能もあるので人間をダメにさせたり依存してしまう人も多いですよね。ドイツでも学校の始まりから終わりまで使用禁止になっています。ドイツでは授業変更が良くあるので、それを確認するためのアプリがあるのですが、確認するためにはスマホを使わなくてはいけないので学校が始まる直前までに確認しておく必要があります。

優しい嘘と厳しい真実?

Q 日本とドイツ、どのような違いがありますか?それぞれの良さや疑問に思うところを教えてください

「良い部分で言うと、日本にいてよく便利だと感じるのが日曜日にお店が開いているということです。ドイツではキリスト教の関係で日曜日は安息日なので開店しているお店はほぼなく、日曜日に買いたいものがあると困ります。でも、それで日本人は十分休めているのでしょうか?

疑問に思う事で言うと、ドイツではお酒は親の同意があれば 14 歳から飲んでよくて 16 歳からは自分で買えます。日本は 20 歳からだと聞いて驚きました。大人になってからというのは良いのかも知れませんが自分の感覚だと遅すぎる気がします。

また、日本人は礼儀正しいと世界中に知られていますが、 "社交辞令"のことを知ってからどこまで本気にしていいのか 分かりません。ドイツ人は思っていることをダイレクトに言って くるので、厳しいですが不安にはなりません。日本人は"優しい 嘘"と"厳しい真実"、どっちがいいのでしょうか?」

Q 前南生にメッセージをお願いします。

「高校生活はたったの 3 年間で終わっちゃうから、勉強も大切だけど、大人になる前の時間を卒業式の時に泣いちゃうくらい楽しく過ごしてたくさんの思い出を作ろ!後から悔いが残らないように勇気を出して、人の目は気にせずいろいろ挑戦しよ!ポジティブに生きていこ!」



【▲体験最終日2年3組の生徒達と】

◎ドイツと日本◎

	ドイツ連邦共和国 (Germany)	日本国(Japan)
面積	約 35.7万 km²	約 37.8万 km²
人口	約 8,482 万人 (2023 年)	約 1億2,300万人(2024年)
首都	ベルリン	東京
名目	約 4.43 兆 米ドル	約 4.23 兆 米ドル
GDP	世界 3 位(2023 年実績)	世界 4 位(2023 年実績)
通貨名	ユーロ (€, EUR)	日本円(¥, JPY)

世界史を教えていた立場から言うと、 支配する側とされる側、国と国、為政者と 民衆などそれぞれの立場で物事を考える と、多面的・多角的な見方や他者を理解す る力が養われます。自身の価値観や習慣 が相対化され、揺さぶられるのも学び、成 長に繋がります。(教頭 長岡将之)

☆校長より☆ まずは、日本の高校に体験入学をしてみようと考え、実行した町田さんに感謝します。今回、体験入学を始める直 前に来日し、終わった翌日にはドイツへ戻るというとてもハードな日程で来日してくれました。前南の生徒の皆さんにも、とても有意義な時間だったと思います。前南の生徒の皆さんの中にも将来、海外で生活をしたり、仕事をしたりする人が必ずいると思います。どうか、町田さんに負けないくらいの「積極性」を身につけて欲しいと思います。将来、町田さんとドイツの街角でバッタリと会う日のために、メッセージにもあるとおり「いろいろ挑戦し、ポジティブに」高校生活を送ってください。(校長 原 拡史)